

令和6年11月15日

小野市議会議長 様

総務文教常任委員会
委員長 河島 信行

行政視察報告書

先般、実施しました総務文教常任委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和6年11月12日（火）

2 視察メンバー

総務文教常任委員会

委員長 河島信行 副委員長 宮脇健一

委員 掘井ひさ代 前田光教 山本悟朗 高坂純子 小林千津子 川名善三

3 視察先及び調査内容

【目的】

小野市が加東市、加西市と3市で近い将来、新設する「新クリーンセンター」が小野市民に愛されるために、議会・議員の果たすべき役割は、何かを考えるため。「もりやまエコパーク環境センター」を視察した。

(1) 滋賀県守山市 【人口 85,895人 面積 55.73km²】

① もりやまエコパーク環境センター 約2.5ha

(所在地 守山市環境学習都市宣言記念公園1番地2)

・工期 平成30年9月～令和3年9月

・稼働 令和3年10月

※参考事項 平成29年10月に守山市環境学習都市宣言制定

②もりやまエコパーク交流拠点施設

(守山市環境学習都市宣言記念公園交流拠点施設)

4 調査結果

視察先① 守山市・もりやまエコパーク環境センター

まず、会議室で、もりやまエコパーク環境センター建設までの経緯等の説明後、センター内（下記）を担当職員の説明を受けながら視察・見学をした。

【熱回収施設】

計量器、プラットホーム、ごみピット・ごみクレーン、焼却炉、ボイラ、蒸気タービン・発電機、バグフィルタ、中央制御室、混錬機、灰ピット・クレーン

【リサイクル施設】

プラットホーム、低速回転式破砕機、高速回転式破砕機、粒度選別機、破砕鉄選別コンベア、ペットボトル圧縮梱包機、空き缶用圧縮機、スプレー缶処理機、ストックヤード

【施設コンセプト】

- 1 安全・安心で安定した稼働ができる施設
- 2 環境に配慮した施設
- 3 エネルギーと資源の有効活用を推進する施設
- 4 市民に愛される施設
- 5 経済性に優れた施設

【施設、設備、建築の概要】

- 1 規模 熱回収施設 ピットアンドクレーン方式
- 2 リサイクル施設 受入ヤード 受入ホッパ
- 3 特徴
 - ・ 70トン級の小規模施設だが、高温高压（4MPa、400℃）の蒸気条件で、高い発電効率（17%）を達成している。
 - ・ タービン排熱を利用して温水プール（交流拠点施設の）への熱供給をしている。
 - ・ 煙突を目立たなくしている。（周辺住民への配慮）
 - ・ 琵琶湖を眺望できる最上階に展望テラスを設置している。
 - ・ 施設見学を積極的に実施している。（小学生、中学生の見学を受け入れ、ごみ分別等の必要性を指導している。）

視察先② ・もりやまエコパーク交流拠点施設

（守山市環境学習都市宣言記念公園交流拠点施設）

- ・ 場 所 もりやまエコパーク環境センターに隣接している。
- ・ 指定管理者 TAC・ナショナルメンテナンス共同事業体
- ・ 目 的 地域の魅力づくりに貢献する。

- ・市民の集う・憩う場である。
「環境」「健康」「交流」をはぐくむ拠点
高齢者の生きがいつくりの拠点
子どもたちの健全育成を図る拠点
- ・施設
温水プール、環境学習室、工作室、交流・学習コーナー キッズプール、
多目的ホール、温浴施設、トレーニングエリア、グラウンドゴルフ場がある。

主な実施事業と事業内容について

- ・大人の水泳教室、子どもスイミングスクール、体操スクール等を実施している。

☆利用者が増加している。

- ・学校授業でのプール使用もある。
- ・グラウンドゴルフ場の使用料は無料。

《所 感》

- 1 小野加東加西環境施設事務組合（小野市・加東市・加西）が計画する「次期ごみ処理施設」の整備に向けて、議会・議員の役割を果たすため重要かつ必要な視察であった。
- 2 守山市「もりやまエコパーク環境センター」事業は守山市単独の施設であり、一部事務組合方式で実施する場合と比較してメリット、デメリットがそれぞれあると考えるが、議会・議員の役割は、「次期ごみ処理施設」を市民にとってより良いものとしていくことである。
- 3 ごみ処理場に対するイメージは、これまで暗いイメージをもたれているが、これを払しょくする工夫を考えることは不可欠である。
「もりやまエコパーク交流拠点施設」では、交流・学習コーナー、工作室、環境学習室、温浴施設、昼コーナー等により高齢者から子どもたちまで幅広い年齢層の利用があり、非常に参考になった。
- 4 小野加東加西環境施設事務組合の「次期ごみ処理施設」についても、付帯施設として現在多様な施設を検討しているが、守山市の取組は参考とすべき点が多い。
- 5 今回の視察メンバーは、総務文教常任委員会所属の議員であり、他の議員にも情報を提供しつつ、小野市議会として今後も調査研究を進めていく。